

「人口減少時代における外国人との 共生について考える」シンポジウム

福井経済同友会の「人口減少問題を考える委員会」では、女性活躍・結婚子育て支援・外国人との共生など幅広い観点から、人口減少問題の現状や課題を整理しています。今回のシンポジウムは「人口減少時代における外国人との共生について考える」と題し、関西国際大学客員教授 毛受敏浩氏のご講演及び福井県立大学 地域経済研究所教授 佐々井司氏、福井県国際交流協会主査 飯田隼人氏を交えた対談の2部構成で開催し、人口減少問題に関わる外国人の受け入れに対して企業経営者はどう向き合うべきかを考えます。

2025年2月3日(月) 14:30~17:00

ザ・グランデュアーズフクイ 3階 天山の間

第1部 14:30~15:30 基調講演

演題：「外国人受入れ新時代の展望と課題」

講師：毛受 敏浩氏 関西国際大学 客員教授

第2部 15:45~17:00 対談セッション

パネラー：毛受 敏浩 氏 関西国際大学 客員教授

佐々井 司 氏 福井県立大学 地域経済研究所 教授

飯田 隼人 氏 福井県国際交流協会 主査

【お申込】

右記のQRコードから1月27日(月)までにお申込ください。

なお、QRコードでの申込が困難な方は、

ご所属・御役職・参加者氏名・メールアドレス・電話番号をメールでご連絡ください。

当日は名刺を2枚お持ちください。(受付用・名札用)

申込み・問い合わせ先：福井経済同友会（担当：東山・三田村）

Email：info@f-doyukai.jp

TEL：0776-29-2220



【登壇者のご紹介】



毛受 敏浩氏

関西国際大学 客員教授

慶応大学法学部卒。米国エバグリーン州立大学公共政策大学院修士。

兵庫県庁で10年間の勤務後、1988年より日本国際交流センターに勤務。2012年より執行理事を務め多文化共生・移民政策、草の根の国際交流調査研究、日独フォーラムなど多様な事業に携わる。

2024年に退職し、同年に関西国際大学客員教授に就任。

NHK『日曜討論』、『クローズアップ現代』等、メディア出演多数。

現在、文部科学省中央教育審議会専門委員、新宿区多文化共生まちづくり会議副会長。外国人雇用協議会顧問。これまで慶応大学、静岡文芸大学等で非常勤講師のほか、内閣官房地域魅力創造有識者会議委員、やまなし多文化共生社会実現構想委員会委員等を歴任。著書に『自治体がひらく日本の移民政策』（明石書店、2016）、『人口亡国ー移民で生まれ変わるニッポン』（朝日新書、2023）、等がある。



佐々井 司氏

福井県立大学 地域経済研究所 教授

1966年大阪府生まれ。

専門は人口学、社会保障論

神戸大学大学院工学研究科修了

1994～2021年 厚生省人口問題研究所、国立社会保障・人口問題研究所

2000～2002年 オーストラリア国立大学

2009～2013年 厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 少子化対策企画室等を経て、2022年から現職。

最近の論考に、「人口減少の社会的背景と対応策」『論究』第20号、衆議院調査局、2023年12月等がある。



飯田 隼人氏

公益財団法人福井県国際交流協会 主査

2013年3月 日本福祉大学国際福祉開発学部 卒業

2013年4月～2016年3月 県内福祉系企業

（居宅介護、就労継続支援、放課後等デイサービス、介護施設向け配食サービス、地域高齢者サロン事業を担当）

2016年4月～現在 公益財団法人福井県国際交流協会 主査

資格・認定等 社会福祉士、総務省災害時外国人支援情報コーディネーター、多文化共生マネージャー

主な取り組みとして外国人住民のための情報発信・伝達のネットワークや外国人住民特有の複雑な相談事例への対応、国籍問わずに参加可能なサッカー・フットサルのイベント「FUKUI WORLD CUP」開催など、外国人との共生に向けた幅広い活動を展開している。